

「話すこと[やり取り]」の指導における  
自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動（小学校）

**1 単元名**

Junior Sunshine 6 Lesson 3 「Let's go to Italy. 」

**2 内容のまとめり**

小学校第6学年 「話すこと [やり取り]」 イ

**3 単元の目標**

行ってみたいおすすめの家や地域と、その理由について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。

**4 単元の評価規準「話すこと [やり取り]」**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] ～ is … . You can ～ . It's ～ .及びその関連語句などについて、理解している。</p> <p>[技能] 相手にセールスしたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、～ is … . You can ～ . It's ～ .及びその関連語句を用いて、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>日本のよさをあらためて理解したり、相手に分かりやすく伝えたりするために、相手にセールスしたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。</p>	<p>日本のよさをあらためて理解したり、相手に分かりやすく伝えたりするために、相手にセールスしたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。</p>

**5 指導と評価の計画（7時間）**

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見通しをもつ。</p> <p>■世界の有名な建物や食べ物について聞いたり言ったりする。</p> <p>①教科書に示された写真の説明を聞きながら、その内容について気付いたことを発表し、世界の食べ物や自然、行事、名所などの言い方を知る。</p>				
2	<p>■世界の国々についてまとめのある話を聞き、話の内容を理解したり食べ物や名所などについて話したりする。</p> <p>①指導者が提示した写真について発表し、世界の食べ物や自然、行事、名所などの言い方を思い出す。</p> <p>②音声聞いて、教科書に示された写真を順番につなげる。</p>	○			
3	<p>■セールスしたい世界の国々について、できることや感想などを相手とやり取りする。</p> <p>①地図や社会科の教科書・資料などを参考に、紹介したい内容を整理する。</p> <p>②内容が決まったら英語でどのように伝えるのか考え、相手とやり取りする。</p>		○	○	
4	<p>■世界の国々についてのセールスプレゼンテーション（発表）の準備をする。</p> <p>①ルーブリックを児童と共有し、評価基準を確認する。</p> <p>②ルーブリックを参考に、第3時までで言えるようになった事柄に何を追加するかを考え、内容を整理する。</p>	○	○		
5	<p>■世界の国々についてのセールスプレゼンテーション（発表）のリハーサルをする。</p> <p>①ルーブリックを参考に、準備したセールスプレゼンテーションのリハーサルをする。</p> <p>②児童同士で発表内容や発表に向かう姿勢に関して相互評価した後、内容を再構成したり、修正したりする。</p>		○	○	
6	<p>■相手に伝わるように、世界の国々についてのセールスプレゼンテーションをする。</p> <p>①前時まで準備した内容を用いて、世界の国々についてのセールスプレゼンテーションを発表する。</p> <p>②次時に向け、セールスしたい国に関する相手からの質問等を予想し、答え方などを検討する。</p>	○	○	○	行動観察
7	<p>■ゲストを招き、質問などに答えながらおすすめの国をセールスする。</p> <p>①ゲストに対して旅行のセールスを行う。</p> <p>②セールスする国に対してのゲストからの質問に、前時まで整理したセールスプレゼンテーションの内容を活用しながらその場で答える活動を行う。</p>	○	○	○	行動観察

**【POINT】**

調べたことを基に伝えようとしている内容を整理して発表します。相手に伝わりやすい内容に工夫するよう、教師が積極的に働きかけることが大切です。



**【POINT】**

第6時で発表した内容を活用し、ゲストとやり取りを行います。ゲストからの質問にその場で答えることができ、価値付けることにより、児童の自信や話すことへの意欲を高めながら、段階的に即興で話すことへつなげていくことが大切です。



※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「話すこと[発表]」など）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることも考えられます。

6 評価例

「話すこと [やり取り]」（知識・技能）（思考・判断・表現）

評価場面	活動内容: ゲストを招き、質問などに答えながらおすすめの国をセールスする。
評価方法	やり取りの内容分析、行動観察
児童のやり取り例 及び評価例	<p style="text-align: center;"><b>【児童のやり取り例】</b></p> <p>児童とゲストとのやり取り</p> <p>児童: Hello. Welcome to our shop. Canada is a beautiful country.              ゲスト: OK. In Canada, what can we eat?              児童: You can eat lobster. It's delicious.              ゲスト: Ah, one more thing, what can we watch in Canada?              児童: Sorry, I don't know..., but you can see CN tower. It's beautiful.              Do you like towers?              ゲスト: Yes. I want to try. Thank you very much.              Excuse me so..., how tall is it? How tall?              児童: Sorry, I don't know.              ゲスト: OK.              児童: Please wait. (インターネットでタワーの高さを調べる。)              児童: Five hundred fifty-three meters.              ゲスト: I didn't know that. Thank you.</p> <p style="text-align: center;"><b>【評価例】</b></p> <p><b>〔知・技〕・・・a</b></p> <p>「～ is …」、「You can ～」、「It's ～」など、国をおすすめする表現についてよく理解してそれらを使ったり、これまでに慣れ親しんだ表現を使って話を広げたりするなど、相手に伝わるように工夫してやり取りすることができている。</p> <p><b>〔思・判・表〕・・・a</b></p> <p>自分がおすすめしたい国のよさを知ってもらうために、既習語句や表現を使って、おすすめしたいことを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。相手から尋ねられなかった事柄に関しても、自分から質問したりしながら、おすすめしたいことをさらに伝えている。</p>

〔実践してみた成果と課題〕

**【成果】**

- ・「話すこと[発表]」の活動で用いた言語材料や発表内容を「話すこと[やり取り]」の活動に生かせるように単元の指導計画を工夫したことにより、学習内容の定着や思考・判断・表現の活動の充実につなげることができた。
- ・中学校の英語科教諭がゲストティーチャーとして、児童とやり取りを行うことにより、自校以外の人と行う言語活動の設定が可能となり、「店にやってきたお客さんにセールスをする」という目的や場面、状況をより明確にすることができた。

**【課題】**

- ・「話すこと [やり取り]」において、2人1組での活動形態をとったことにより、個別に評価することが難しい場面があったことから、評価の方法や評価規準、活動形態等を工夫・改善する必要がある。